

# 温 泉 分 析 書

(山薬温第16-11号)

- 1、申請者 住所 山梨県西八代郡下部町下部45番地  
 氏名 源泉館 主人 依田茂
- 2、源泉名および湧出地 源泉名 源泉館神泉  
 湧出地 山梨県西八代郡下部町下部36番地
- 3、湧出地における調査および試験成績
- (1) 調査および試験者 株式会社 山梨県環境科学検査センター 小沢一昭
  - (2) 調査および試験年月日 平成16年8月11日
  - (3) 泉温 29.6℃ (測定時における気温 29℃)
  - (4) 湧出量 - l/分 (自然湧出)
  - (5) 知覚的試験 無色澄明、無味、無臭
  - (6) pH値 8.0
  - (7) ラドン (Rn)  $8.98 \times 10^{-10}$  Ci/kg (2M・E/kg)
  - (8) ラジウム塩 (Raとして)
- 4、試験室における試験成績
- (1) 試験者 株式会社 山梨県環境科学検査センター 小沢一昭
  - (2) 分析終了年月日 平成16年8月25日
  - (3) 知覚的試験 (24時間後) 無色澄明、無味、無臭
  - (4) 密度 0.9987 (20℃/4℃)
  - (5) pH値 8.12
  - (6) 蒸発残留物 451 mg/kg (110℃)
  - (7) 電気伝導度 686  $\mu$  S/cm (25℃)

5、試料1kg中の成分、分量および組成

1) 陽イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン (H <sup>+</sup> )	0.0	0.00	0.00
リチウムイオン (Li <sup>+</sup> )	0.0	0.00	0.00
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	74.4	3.24	52.68
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	0.6	0.02	0.33
アンモニウムイオン (NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.2	0.01	0.16
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	0.4	0.03	0.49
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	57.1	2.85	46.34
ストロンチウムイオン (Sr <sup>2+</sup> )	0.1	0.00	0.00
バリウムイオン (Ba <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00
アルミニウムイオン (Al <sup>3+</sup> )	0.0	0.00	0.00
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00
第一鉄イオン (Fe <sup>2+</sup> )	0.1	0.00	0.00
第二鉄イオン (Fe <sup>3+</sup> )	0.0	0.00	0.00
亜鉛イオン (Zn <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00
陽イオン 計	132.9	6.15	100

2) 陰イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン (F <sup>-</sup> )	0.2	0.01	0.17
塩素イオン (Cl <sup>-</sup> )	60.9	1.72	28.38
臭素イオン (Br <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
ヨウ素イオン (I <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
水酸イオン (OH <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
硫化水素イオン (HS <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
硫化物イオン (S <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00
チオ硫酸イオン (S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00
硫酸水素イオン (HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	189.2	3.94	65.02
リン酸一水素イオン (HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00
メタ亜ヒ酸イオン (AsO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	23.9	0.39	6.44
炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00
メタケイ酸イオン (HSiO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
メタホウ酸イオン (BO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00
陰イオン 計	274.2	6.06	100

溶存物質 (ガス性のものを除く) 0.442 g/kg

成分総計 0.470 g/kg

3) 遊離成分 非解離成分	ミリグラム	ミリモル
リン酸 (H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> )	0.0	0.00
メタ亜ヒ酸 (HAsO <sub>2</sub> )	0.0	0.00
メタケイ酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	31.5	0.40
メタホウ酸 (HBO <sub>2</sub> )	2.9	0.07
硫酸 (H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> )	0.0	0.00
非解離成分 計	34.4	0.47

その他微量成分	ミリグラム
カドミウムイオン (Cd <sup>2+</sup> )	0.005>
鉛イオン (Pb <sup>2+</sup> )	0.01>
銅イオン (Cu <sup>2+</sup> )	0.01>
総水銀 (Hg)	0.0005>

4) 遊離成分 溶存ガス成分	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	28.1	0.64
遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	0.0	0.00
溶存ガス成分 計	28.1	0.64

- 6、泉質 単純温泉  
 (低張性弱アルカリ性低温泉)
- 7、禁忌症、適応症等 温泉分析書別表中の5に記載

平成16年9月1日

山梨県温泉成分分析施設 山梨県 4第4-3-1号により  
 平成14年4月8日付 山梨県 14山梨み自第1号  
 山梨県甲斐市南町 277-12  
 株式会社 山梨県環境科学検査センター 代表取締役社長 鈴木富藏

# 温泉分析書別表

1. 源泉名 源泉館神泉
2. 源泉所在地 山梨県西八代郡下部町下部36番地
3. 申請者 源泉館 主人 依田 茂
4. 泉質 単純温泉（低張性弱アルカリ性低温泉）
5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

(1) 浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

(2) 浴用の適応性

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

(3) 飲用の禁忌症

(4) 飲用の適応症

(5) 浴用、飲用上の一般的注意事項

①浴用上の注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点に注意すること。
  - (ア) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - (イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - (ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
  - (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。
  - (オ) 次の疾患については原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。
    - イ. 高度の動脈硬化症
    - ロ. 高血圧症
    - ハ. 心臓病
  - (カ) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
  - (キ) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
  - (ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。

②飲用上の注意事項

- ア. 温泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。
- イ. 温泉飲用の1回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日の量はおおむね200mlないしは1000mlまでとすること。
- ウ. 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、または希釈して飲用すること。
- エ. 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。
  - (ア) 一般には食前30分ないし1時間がよい。
  - (イ) 含鉄泉、放射能泉及びビタミン又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。
  - (ウ) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。

(注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。

別表発行年月日 平成16年9月1日

山梨県甲斐市竜王新町22-5

株式会社 山梨県環境科学検査センター  
代表取締役社長 鈴木 富

